

こんにちは。監事の松川です。

去った6月23日は慰霊の日でしたね。私が住んでいる糸満市は最後の激戦地となった地域でもあり、個人的にも毎年色々と考えさせられる日にもなっています。今年はテレビにて「沖縄全戦没者追悼式」を観ましたが、家族揃って正午には1分間の黙とうを捧げ、平和への思いを祈りました。

79年が経って戦争体験者が少なくなっている中、平和の詩を朗読した、宮古高校の高校生の方の「これから」を聴くと、自分達も今の平和が当たり前ではない事を頭に入れて過ごしていかないといけないなと感じました。糸満市に來られた際には是非平和記念公園へもお越しくださいませ（綺麗な公園もあって家族で過ごすのもgoodですよ）



【活動報告】仕事と介護応援フォーラム in北九州へ参加しました

去った6月15日、北九州市にて開催された「仕事と介護応援フォーラム」へ参加しました。このフォーラムでは、企業、産業ケアマネ、社会保険労務士を含む「仕事と介護の両立」に関心のある全ての方が参加対象となっており、会場は100人超えで参加者の関心の高さが伺えました。基調講演では、仕事と介護の両立支援 第一人者として講演や書籍、メディア等々で活躍中の川内潤氏の一言「これまで3,000人以上関わってきた中で『仕事と介護は両立できる』と断言できる」という力強い言葉が印象的でした。私も学びを深め、関わる企業・皆様のお役に立ちたいと強く感じる時間となりました。その他、当日の様子をnoteにまとめていますので、どうぞご覧くださいませ😊（記事：大城）



◀ 川内潤氏著書「親不孝介護」

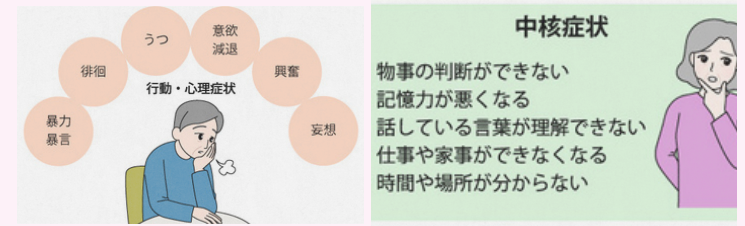


note

認知症の治療薬

認知症は、さまざまな原因によって記憶力が悪くなったり、いつもしていることができなくなる等、日々の暮らしに支障が生じる脳の病気です。主に、アルツハイマー型、レビー小体型、血管性、前頭側頭型の4種類に分けられます。日本では、認知症になる人のうち60%以上がアルツハイマー型といわれています。先日、米の大手製薬会社が、アルツハイマー治療薬「ドナネマブ」の承認を受けた記事を目にしました。アルツハイマー型認知症の症状の進行をおくらせる医薬品としては2例目となり、実は1例目の承認を受けた会社は日本の企業「エーザイ」（バイオジェンと共同開発）で、「レカネマブ」という治療薬が既にあるとの事（私もつい最近知りました...）

しかし、治療に掛かる費用は「レカネマブ」が約300万/年、「ドナネマブ」が約500万/年（松川調べ）と高額で、一般市民での活用はもう少し先になりそうですね(;▽;)（記事：松川）



介護サービスってどんなもの？

介護サービスには様々な種類があります。状況やニーズに合ったサービスが活用できると、要介護者の日常生活向上だけでなく、介護者の負担も大きく軽減できます。

1.訪問系

訪問介護・訪問リハビリ・訪問看護・訪問入浴等（まだあります）

2.通所系

デイサービス・デイケア・パワーリハビリ

3.入居・宿泊

介護老人保健施設・有料老人ホーム・特別養護老人ホーム等

4.福祉用具

車椅子、介護用ベット等貸与・シャワーチェア等福祉用具購入

5.住宅改修

手すり設置・段差解消・門扉やドアの変更

（記事：中山）

介護ワンポイントアドバイス⑥

「徘徊」を「道迷い」に

認知症の方が家族に行先を告げずに、外出して行方不明になる...、そんなニュースを見聞きしたことはありませんか？ 私たちはそんな状態を「徘徊」という言葉を使って表現してきました。「徘徊」と辞書を引くと「目的もなく歩き回る」とあります。しかし、認知症の方たちからの発信された「私たちは、自分なりの理由や目的があって外に出かける」「外出を過剰に危険視して監視や制止をしないで」とのメッセージでも分かるように言葉遣いが見直さつつあり、「道迷い」と言い換えが最近主流になってきています。

適切な言葉づかいを理解する。適切に使用する努力をする。私たちもできることから、意識することから始めてみませんか♪

（記事：中松）

